

もくぞう こくうぞう ぼ さつ ざ ぞう
木造虚空蔵菩薩坐像

◇ 指定日 令和2年4月7日

◇ 所在地 長根

◇ 所有者 長根寺

一木造りの虚空蔵菩薩座像で、頭には八角の宝冠をかぶり、顔は目が細く、ややまなじりを上げ、口元を強く結んでいます。

右手は膝上で握り、左手は手のひらを上に向けています。剣を握り宝珠を持っていたと推定されています。

膝部分の底面には、応永24年(1417年)の墨書銘があります。

この当時は曹洞宗などの禅宗が岩手県域に伝わった頃で、禅宗彫刻の様式を伝える優れた彫刻仏といえます。

銘文「摩耶経一百三十六部餘分■佛

応永二十四年太歳丁酉八月

廿九日入佛 二貫三百文也」



像高 31.3cm 幅 25.0cm 奥行 21.0cm